

# THE WEEKLY NEWS

2017～2018年度

国際ロータリー会長 イアンH.S.ライズリー

国際ロータリー  
第2790地区ガバナー 寺 嶋 哲 生

第5分区ガバナー補佐 西 川 佳 璋

鴨川ロータリークラブ

会 長 小 篠 隆

副 会 長 脇 坂 保 雄

幹 事 亀 田 美 穂

会 報 篠 寄 忠 昭



No. 2591 (10) 2017年9月26日

＝今週のプログラム＝  
9月26日 会員卓話

＝次週のプログラム＝  
10月 3日 クラブフォーラム  
インターアクト  
合同会議報告

例会日 (火) 12:30～13:30  
例会場 鴨川シーワールドホテル

事務所 〒296-0001 鴨川市横渚697 伊藤胃腸科クリニック内  
URL <http://www.kamogawa-rc.com> TEL・FAX 04-7093-2001

## 第10回 例会 報告

日時：平成29年9月19日12:30～  
(例会場：鴨川ホテル三日月)

- |                          |             |           |           |
|--------------------------|-------------|-----------|-----------|
| 1、点 鐘                    | 会 長 小 篠 隆   | 6、委員会報告   |           |
| 2、ロータリーソング斉唱 「それこそロータリー」 |             | 親睦委員会     |           |
| 3、会長挨拶                   | 会 長 小 篠 隆   | 7、その他の報告  |           |
| 4、新入会員入会式                | 三 平 博 美 委員長 | 8、ニコニコBOX |           |
| 5、米山記念奨学生による卓話           | キョウ 雪 さん    | 9、出席報告    |           |
|                          |             | 10、点 鐘    | 会 長 小 篠 隆 |

### 会長挨拶

会 長 小 篠 隆

先日、第2回会長幹事会地区委員合同会議が開催されました。

主な議題は、ガバナー公式訪問についての確認事項。公式訪問の流れ、情報研修会、財団・米山送金の件、分区ゴルフ、ライラ実行委員分区選出、ガバナー候補、地区委員より連絡事項、各クラブの近況報告でした。

ガバナー公式訪問では、ガバナー補佐、会長・幹事懇談会がクラブ別に45分。

通常例会、ガバナー卓話は20～25分。クラブ協議会第1部から第3部まで90分を予定しています。全員参加との事です。

各委員会の活動計画の報告と直前会長によるクラブの課題と対策案が予定されています。

情報研究会が11月25日、勝浦ホテル三日月で午後から予定されています。全員参加が基本です。

ライラ実行委員を鴨川・千倉と館山・鋸南と勝浦・館山ベイの3グループに分けて今回は、勝浦・館山ベイから2名実行委員を出すことになりました。

続いて、勝浦の会長より、ガバナー候補者を勝浦ロータリーの漆原会員を推薦し、他クラブからの推薦が



ないので、寺嶋ガバナーの承認が確実だということでした。2790地区初の女性ガバナーが東京オリンピックの年に誕生するそうです。

10月13日のガバナー公式訪問と11月25日の情報研究会には全員参加をお願いして会長挨拶といたします。

### \* 出席報告 出席免除会員 …… 3名

例 会 日	会 員 総 数	出 席	M . U	出席率 (%)
9 月 12 日	32	18	7	83.87%
9 月 19 日	33	20	6	81.25%

## \* クラブ米山記念奨学卓話 … 米山記念奨学生 キョウ 雪 さん

## 鴨川ロータリークラブでの卓話



キョウ 雪さんの紹介をする古市一雄会員



みなさん、こんにちは、ただいまご紹介していただきましたキョウセツと申します。今年の4月から、米山奨学生として千葉ロータリークラブにお世話になっております。カウンセラーの方は上田誠也様です。本日、この場で、皆様の前でお話をする機会を与えていただき、とても光栄に思います。本日より高度なお話をしようと思っておりましたが、まだまだ日本語力不足で、ちょっと難しかったです。しかし、せっかくの機会なので、どんなに簡単な言葉でも、楽しんで自分の思いを伝えていきたいと思っておりますので、どうぞ、よろしくお願い致します。

私は2014年4月に中国の深圳から参りました。今年の9月で、来日してから3年半になりました。振り返ってみればあつという間な時間ですが、よく考えてみると、この約4年間いろいろな人と出会い、たくさん新たなことを体験することができ、とても充実していて楽しかったです。

最近、時間が経つのが速いと感じています。今年の4月に米山奨学生になって以来、もう半年以上になりました。最初のオリエンテーションをはじめ、お世話クラブの例会、研修会、学友バーベキュー、今回の卓話も含め、いろいろな活動に積極的に参加し、様々なことを考える貴重な機会と経験を得させていただきました、心より感謝申し上げます。それでは、本日卓話の方に入りたいと思います。本日の卓話は「私の家族」「日本に関心を持つようになったきっかけ」と「ロータリーに対する理解」という3つを中心にお話ししようと思っております。

#### ●まず私の家族をご紹介させていただきます。

私の家族は3人家族で、母、父と私です。父は腕時計の会社で、人事の仕事をしています。今年54歳です。父は会社では責任感が強く、厳しい部長だと言われているそうです。しかし家族ではとても優しい父で、休みの日にはよく車を運転して、私たちを海の方や山登りに連れて行ったりしてくれました。子供の頃から父が「我が子は我が子、他人の子と比べる必要はない」とずっと言ってきましたので、私は、「他人と比べない生き方」で、暖かい家庭で育てられました。

なので、父の優しさは言葉だけでは伝えられないと思います。

私の母は主婦です。ふざけて言うと好奇心旺盛な人です。本当に子共のような心を持っています。いつも新しいものが好きで、周りの迷惑を気にしないタイプです。母は、好奇心旺盛で本能のまま関心のある物事に向き合い、時々、空気を読まずに自分の世界に没頭してしまうこともあります。でも、このような明るいお母さんがそばにいるおかげで、私はどんなことであっても、前向きに生きられる精神力を持つようになったと思います。私は一人っ子で子供の時に幸せでしたが、年を重ねるにつれて、よくもし兄弟がいれば、家族がもっとにぎやかになるじゃないかと思いつつ、時々冗談で母に文句を言っています。最高の両親がそばにいることは、何より幸せです。以上が私の家族の話です。

#### ●次は私が日本に関心を持つようになったきっかけについてお話しします。

日本に来てから、いつも、日本を選んだ理由は何かと質問されます。もちろん、日本のアニメや漫画が好きとか、景色が綺麗とか、日本文化が好きとかの理由で、日本に来た方もたくさんいらっしゃると思いますが、私はちょっと違います。実は、日本のような正式の場で、自分が日本に来た理由をどういう風に言えばよいか迷っていました。本当の理由を言おうとしたら、親友が「そのような正式の場で、そんなのやめた方がいいよ」とアドバイスしてくれました。しかし、よく考えたら日本に関心を持つようになった理由を格好付けて言うよりも、正直に言った方がどんなに恥ずかしいことでも許される気がしますので、ここで正直に言わせていただきます。私は留学先に日本を選んだ理由は、日本の嵐というアイドルグループが好きになったからです。

嵐との出会いは2008年です。2008年に嵐の松本潤さんが主演した「花より男子」を見たきっかけで、日本のドラマを観始めました。そして、嵐をもっと詳しく知りたいと思いつつバラエティーを見るようになりました。それから、その明るくてどんなこと

があっても、前向きに考えるグループにハマってしまい、2012年から中国の日本語学校で日本の勉強をし始めました。

日本語のレベルが上がるにつれて、「より正しく話したい」「日本文化をもっと知りたい」「ネイティブと話してみたい」という気持ちがますます強くなり、日本へ留学しようと思いました。しかしその時、家族に猛反対されました。父は「旅行に行くなら、いつでも遊びに行っていいますが、留学はダメ。もし本気でいきたいならば、やる気を見せなければ、行かせない」と反対しました。両親に反対された理由がわからないことはありません。一つ目は周りの人たちが羨ましがっているいい仕事に就いたからです。二つ目は太り過ぎて、体が弱かったからです。その時、確かに92kg、階段3階でも登れない状態でした。しかし、どうしても日本に行きたくて、どうしても嵐に会いたくて、何かを本気でやらないと、家族の許可がもらえないと思いつつ、私は、ダイエットを始めました。私のような食いしん坊にとっては、世の中には食事制限より辛いことはないと思うぐらい、ダイエットが辛かったです。努力は人を裏切らないということで、8月にわたって、私は35kg痩せました。その時点で、人間は本気にやればなんでもできるということに気づきました。結果として、やっとずっとあこがれていたこの日本に来ることができました。飛行機から降りて、日本語で書かれている「エレベーター」を見た瞬間、この上ない幸せを感じてすぐ写真を撮りました。達成感というか、自分が頑張ったご褒美で日本に来たんだと実感しました。



日本に来てから、ネイティブの先生の授業を受ける中で、日本語や日本文化を肌で感じる事ができています。もちろん、日本に来たばかりの頃、日本語があまりできなくて、たくさん苦労しました。苦労したことをここでは3つほどあげます。まず、学校に行く途中で乗り換えの時に迷ってしまい、自分は今どこにいるかがわからなく、先生に電話をしました。先生に「今、何線ですか?」と聞かれ、私は路線の名前ではなく、ホームの「3番線です」と返事をしてしまいました。次に、100円ショップに行き、営業時間を聞いたのに、「いつ閉店ですか?」と聞いてしまい、店員さんが訳が分からない表情をしていたこともあり。そして、南柏駅で鍵を落としてしまい、駅の

係員に「すみません、カニを落としたんですが…」と言ってしまい、係員がびっくりした顔をして、「冷凍食品ですか」と聞き返してくれました。その時点、自分がどんなに不思議なことをしてしまったかに気づかれました。このようなことが数えきれないほどたくさんありましたが、これらが私を成長させてくれて、全て私の思い出になります。一生忘れられないでしょう。

日本語学校で楽しい1年間過ごし、日本語の魅力や学習の楽しさ、自分の目で見た日本・自分の心で感じた日本文化を中国人に伝えたいという思いが増すにつれて、一つ大きな夢が芽生えました。それは日本語教師になることです。そのため、麗澤大学大学院の日本語教育専攻に入学しました。

大学院の授業では、日本語の仕組み、外国語を学ぶプロセス、日本語授業法、記憶の仕組み、音声学などを学んでいます。特に、外国語を学習するとき、頭の中で何を考えているのか、第二言語を学習するとき、どのように勉強しているのか、なぜある言語形式はどんなに頑張ってもなかなか上手に使えないのかなどの学習に関するプロセスを掘り下げていくことはとても楽しいことだと感じています。私は日本語教師になろうという夢を持っているので、大学院の先生たちの下で、日々楽しく勉強や研究に励むことができています。

#### ●それでは、ロータリーとの出会いと、そこで得た経験についてお話をさせていただきます。

麗澤大学に入ってから、同じ米山奨学生の先輩からロータリーについて色々聞くことができました。その時「この先輩ってすごいな」と思いました。まさか自分も一年後、米山奨学生になるとは思いませんでした。ここに立ってスピーチをするなんて夢のようです。

千葉ロータリークラブに入ってから、毎月の最初の例会に参加しており奨学金をいただいています。いただいた奨学金を毎月4つに分けて使わせていただいています。まず、学費のため、毎月10万円ずつ貯金しています。そして、2・3回くらい友達と一緒に食事をしたり、遊びに行ったりするなど、友達との交流を深めるために毎月およそ2万円を使っています。それから、必ず1万円を出して、少なくとも一冊の本を買うようにしています。本を読むことで、今まで自分にはなかったアイデアや、やり方などがわかることはもちろん、知識もどんどん増えていきます。最後の残り1万円は小遣いです。そして、日本の社会に溶け込むために必要な能力を鍛えるべきだと思い、毎週2回、1回6時間にわたってバイトもやっています。

一方、例会に出席するたびに、日本での生活や学業に関する不安について、ロータリーアンの方々から相談にのっていただいたり、日本の文化や面白いところを紹介していただいたりしています。ロータリーアンの方々には日本の第一線で活躍しているの方々であり、貴重な話をたくさん伺うことができ、私の人生に対する考え方がとても豊かになったと思います。

ロータリークラブに入ってから、最も印象に残っていることは、ロータリーの奉仕の精神です。奨学金をいただくことで、経済的に豊かな留学生活を送ることができました。それに、1か月一回の例会に参加させ



ていただくことにより、ロータリーアンの奉仕の精神について学ぶこともできました。また、ロータリーでは、今日に至るまで、奉仕を通じて世界平和を訴えてきています。毎月のロータリーの友という雑誌を通じて、ロータリーアンが世界の理解、平和のために非常に素晴らしい奉仕活動を行っている事にも気づきました。奉仕という言葉は本当にロータリーのキーワードのような存在で、みなさんに知られています。

一見、抽象的に聞こえるこの「奉仕」という言葉をどのように解釈するかを私はロータリーに入ってから、ずっと考えてきました。私にとって、奉仕とは、必要とする人に目に見える物質的なものを与えるだけではなく、精神面を支えることも奉仕活動だと思います。例えば、自分のできる限り、人を助けるといったことやいい雰囲気を作ることは奉仕であり、いつでも人にやさしく接することも奉仕です。つまり、暖かい心を持って、何かをしようとするれば、偉い人だけでなく、いつでもどこでも誰にでもできるものです。「今の私はまだまだ平凡な人だから、奉仕なんてできないよ」思っていたら、大間違いです。

私は米山奨学生になってから、学業にしろ、バイトにしろ、いつも身近なことから、責任をもって生きています。ロータリー米山記念奨学会は、私にとって大事な存在です。日本と中国の架け橋になりたいと思い、いつも SNS を通じて、日本の良さと日本の方の優しさを母国の人たちに伝えていきます。将来、社会貢献や世界平和に寄与できる人間になることを目指し、一生懸命頑張っていきたいと思っています。米山奨学生になって大変良かったと思っております。優しいロータリーアンと多くの奨学生、学友に出会うことができ、とてもうれしいです。この縁が繋がりになって奨学生終了後も、ずっと続けたいと思います。

スピーチは以上となります。ここで、今後ロータリーの益々のご発展をお祈りしながら、私のスピーチを終わらせていただきます。拙い言葉を最後まで聞いてくださり、ありがとうございました。

スピーチは以上となります。ここで、今後ロータリーの益々のご発展をお祈りしながら、私のスピーチを終わらせていただきます。拙い言葉を最後まで聞いてくださり、ありがとうございました。

## \* 新会員入会式

亀田雄司会員（亀田酒造株）の新規会員入会式及び、(株)アスカ佛商の野口会員から池田会員へメンバー変更の報告がありました。



亀田雄司 新会員



池田 憲 新会員

## \* 委員会報告

### ▶ 親睦委員会

《会員結婚記念日祝い》

9月13日 亀田美穂・省吾夫妻



## \* ニコニコボックス

氏名	メッセージ	氏名	メッセージ
三平 博美	新入会員入会祝い	古市 一雄	米山奨学生卓話御礼・新会員歓迎
佐藤 多恵子	前回欠席ソーリー	小篠 隆	米山奨学生卓話御礼・新会員歓迎
末吉 一夫	米山奨学生卓話御礼		